

草案 ページ	第3回検討会指摘事項	案 ページ	修正案
5	SDG s の実現 17の目標を挙げていただいてそうした目標に取り組んで行くという書き方をした方が良いのではないかと。	6	案6ページに、SDG s の17の目標の表にてすべての目標を掲載させていただき、(7)持続可能な開発目標(SDG s)の実現の文章中、2段落目に「生涯学習の推進に関連する目標としては、目標4「質の高い教育をみんなに」、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」が挙げられています。」と掲載されています。
6	Society5.0で言われているのは、先進的な部分だけではなく、それについていけない人たちをどうしていくのかという部分、情報格差については起きないというのは難しいにしても、それに対して適切な対応をしていかなければいけない、生涯学習の視点からそうした格差をなるべく縮めていくという視点を入れた方が良いのではないかと。	7	案7ページ(8)「Society5.0」の実現に向けた取り組みの推進の文章中、3段落目に「一方、世界的に「デジタル・ディバイド(インターネットやパソコン等のICTを利用できる人と利用できない人との間に生じる格差)」が問題となっています。全国的には低所得である人や高齢者において、経済的な面やリテラシー面での課題により、ICTを利用していない傾向がみられます。今後は、ICTの利活用が容易となる取り組みを進めるとともに、利用者の視点に立ち多様なニーズに対するきめ細やか対応を行うことで、「デジタル・ディバイド」の解消やICTの一層の利活用につなげることが求められています。」という文章を追加しました。
7	7ページのコロナウイルス共生時代について、新しい生活様式の図を示し少し分かりやすくはなったが、文章のところに直接顔を合わせなくても学ぶとことが出来るというところは書いてあるが、顔を合わせて学ぶ、3密に気をつけながら繋がりをつくっていくということも大事である。直接顔を合わせなくても学ぶことができるだけでなく、集まること自体がいけないという事にならないように、少しバランスをとった表現にしたほうが良いのではないかと。	8	案8ページ(9)コロナウイルス共生時代で変わる生涯学習の学び方の文章中、2段落目に「今後は、「3つの密」を避けながら生涯学習活動に取り組んだり、人と人がつながることができる環境、仕組みづくり、直接顔を合わせなくても学ぶことができるインターネット環境の整備が求められています。」という文章に修正しました。
	清須市としてコミュニティ・スクール、地域学校協働本部の設置について施策としておこなっていくと前の方で書いた方が良いのではないかと。第4章の推進状況のところ新しい取り組みとして、新しい施策として取り組むという書きかたの方が良いのではないかと。基本方針の最初のところでも良いが、個々の施策に入ってしまうとおおきな施策として取り組んでいくということが分かりにくいのではないかと。	22 45	案22ページ2誰もが活躍できる社会を実現するために の文章中、3段落目に「教育への市民や地域の参画を促すため、コミュニティ・スクールの導入や地域学校協働本部の設置を進めます。45ページ【今後の方向性】の文章中、2段落目に、「今後は、学校教育への市民や地域の参画をより一層推進するため、コミュニティ・スクールの導入や地域学校協働本部の設置を進めます。」という文章を追加しました。
	学校図書室と市立図書館との連携について何か行っているのか。	29	案29ページ小学生期、中学生期に、学校配本事業の実施として「市内の希望する学校に本を提供することで、子どもの読書活動の推進に取り組みます。」と掲載されています。

	健康づくりという視点も入れた方が良くはないか。コロナ禍の中でどのように健康づくりをしていくかということを考えると、どのような場所でもスポーツ、レクリエーションができるということを考えていただきたい。	37	案37ページ【今後の方向性】の文章中、1段落目に「スポーツは、誰もが気軽に親しむことができ、市民同士の交流を広げたり、心身の健康づくりや介護予防につながるものです。」という文章を追加しました。
37	週1回以上スポーツ・レクリエーション活動を行っている市民の割合平成28年度が23.7%現状令和元年度が20.0%、目標値として令和6年度が20.0%になるのか。23.7%より増えているのなら分かるが、現状維持と同じ数値なのはなぜか。	38	案38ページの【指標】週1回以上スポーツ・レクリエーション活動を行っている市民の割合につきましては、数値目標設定時は、平成28年度と比較して、「きよすスポーツクラブ」及び「市体育協会」の会員が減少していることを踏まえ、20.0%という目標値を設定しました。それに対して、「きよすスポーツクラブ」や「市体育協会」に加盟せずに、市内の学校施設や屋外社会体育施設等を利用して個人でスポーツを行う団体が以前と比べて増加していることに加え、「東京2020オリンピック・パラリンピック」や2026年開催予定の「第20回アジア競技大会」を通して、市民のスポーツの機運が高まることを見込み24.0%という目標値を再設定いたしました。24.0%に目標値を見直しました。
	数値的にいうと、やや増加を目指すことが読み取れるような数値を出していくほうが市民にも分かりやすいのではないか。		
	個人的には週に1回以上スポーツを行う市民の割合が5人に1人以上いるのではないかと思う。目標はもっと高く設定したほうがよいのではないのか。		
	部活動も他市町に並びながら学校教育から徐々に社会教育へ移行していかなければならない段階である。よその市町の動向も踏まえながらこれからどうしていくのかという展開も考えてみていただきたい。	45	案45ページ【現状・課題】1段落目に、学校の部活動を地域に移行するにあたり、社会教育関係団体や総合型地域スポーツクラブ等と連携して子どもたちを支えていく取り組みが求められます。という文章を追加しました。
	総合スポーツクラブ、指導者の学校への参加についてはもう少し書かれても良いのではないか。		
	シニア世代の方を活用できるような図書館づくりについて考えていただきたい。	45 46	図書館、シニア世代に限定されたものではありませんが、案45、46ページに地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていく取り組みを掲載させていただいております。シニア世代の活用につきましては「第2次清須市生涯学習推進計画」策定時に検討してまいります。
	各学校の美術部は学校にあると思うが、合同の美術展のようなものをはるひ美術館でやっていただきたい。		はるひ美術館と市立中学校とが連携して「清須市4中学校美術部展」を開催しています。本展は、生徒自らが展示や受付や作品解説を行い、来館者と交流を深める機会にもなっております。